

2021年4月23日

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20
ディーアイシービル

気候変動イニシアティブ（JCI）による 「パリ協定を実現する野心的な 2030 年目標」メッセージへの賛同について

D I C株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）は、このたび気候変動イニシアティブ（Japan Climate Initiative、以下「JCI」）がパリ協定を実現する野心的な 2030 年目標として、日本における 2030 年温室効果ガス削減目標（NDC）45%以上並びに再生可能エネルギー電力目標 40～50%を目指すことを政府に求めたメッセージについて、メンバー企業の 1 社として賛同しましたので、お知らせします。

メッセージの詳細につきましては JCI のニュースリリースをご確認ください。

<https://japanclimate.org/news-topics/call-for-ambitious-2030-target/>

当社は、中期経営計画「DIC111」における重要テーマとして ESG 経営を推進し、各分野での目標を定め、取組みを加速しています。環境分野（Environment）においては、グループ全体として中長期的なパフォーマンスに大きな影響を与えるマテリアリティ最重要課題の一つとして「気候変動への対応」を認識し、2030 年に向けた CO₂ 排出削減目標（2013 年度比 30%削減の総量目標）をグローバルに掲げています。更に、2050 年のカーボンニュートラルを目指す長期ビジョンの立案を進めております。

このたび JCI から公表された 2030 年目標は、気候危機の回避に向け、日本の削減目標を欧米に匹敵する、先進国としての役割と責任にふさわしいレベルにまで強化することを求めるものであります。その実現には、企業、自治体、団体による個々の活動だけでなく、日本全体として広範な分野の枠組みを超えた取組みが不可欠であることから、当社も更に積極的に脱炭素社会の実現に取り組んでいく決意の下、今回のメッセージに賛同致しました。

当社は世界で約 170 社のグループ企業とともに事業に取り組んでいます。ブランドスローガン Color & Comfort を掲げる企業として、引き続き事業活動と連動した ESG に対する取組みの強化と開示を進めながら、社会の要請を的確に把握し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

以上

【関連情報】

■ DIC グループ 価値創造アプローチについて

DIC グループは、持続可能な社会を見据えてマーケットとお客様のニーズに対応した製品ソリューションを提供し、彩りある快適な社会づくりを目指しています。

https://www.dic-global.com/ja/csr/value_creation.html

■ DIC グループ「サステナビリティ」について

DIC グループは 2007 年度より CSR（企業の社会的責任）を経営に取り入れ、さらに 2014 年度からは、「持続的成長」に向けた取り組みの方向性をより明確に位置づけるため、活動の名称を「CSR」から「サステナビリティ」に変更しました。また、2018 年度より DIC は ESG 部門を新設し、専門的な部署を設けて DIC グループのサステナビリティ活動のさらなるグローバルな展開に取り組んでいます。「サステナビリティ基本方針」に基づき、DIC グループは環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する社会の要請を的確に把握しながらグローバルに活動を推進しています。

<https://www.dic-global.com/ja/csr/philosophy/>

■ DIC グループ サステナビリティ指標について

DIC グループは、「社会的価値」と「経済的価値」を両立する事業領域への方向転換を加速するために、当社が成しうる「社会的価値」を明確にするものさしとして、「サステナビリティ指標」を策定しました。

https://www.dic-global.com/ja/csr/sustainable_society.html

■ DIC グループの TCFD への提言について

DIC グループは 2019 年 5 月に、TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures = 気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への支持を表明しました。DIC グループでは気候変動をビジネスに影響を及ぼす重要なファクターと捉え、情報開示を推進します。

<https://www.dic-global.com/ja/csr/environment/co2/index.html>